

チャンス・チャレンジ・チェンジ

秋田県立養護学校天王みどり学園 加賀谷 勝



自閉症の感覚と世界

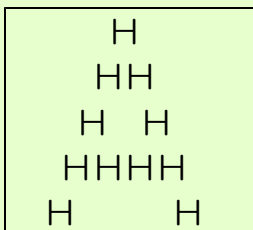


「飛び跳ねる思考」～会話のできない自閉症の僕が考えていること～より (著者:東田直樹)

〈物の見方〉

・花などを見た時には、花びらの1枚1枚やおしべ、めしべなど、花全体というよりも部分が目についてしまいます。

→物を見るときに、全体よりも、部分に注意が奪われやすい特性がある。(シングルフォーカス)



問題：左の文字は、何に見えますか？

Aだと答える人と、Hだと答える人がいる。Hだと答える人は、部分に囚われて、全体が見えにくい。自閉症スペクトラムの人は、「H」と答える人が多いといわれている。



↓ **子どもの特性に合わせた視覚情報を提示しよう！**

- ・視覚刺激をなるべく遮断する。(黒板周りの掲示物を精選する、不必要な情報を後方に掲示したり、カーテンで目隠ししたりする)
- ・視覚情報を一覽で示すのではなく、必要な情報だけ日めくり式にする、番号や矢印を付けて箇条書きに提示する。



〈記憶〉

・僕にとっての記憶は、線ではなく点のようなものだからです。十年前の記憶も昨日の記憶も変わりありません。失敗したこと自体覚えていても、いつ、どんな失敗をして、自分がどうしなければいけなかったのか、記憶がつかないのです。

→自閉症児は、生活場面を静止画像にして紐で綴じ、束ねて時間を空間化している。紐で綴じられた画像は、簡単に取り出したり差し替えたりすることが難しい。



↓ **静止画像のすき間を埋めよう！**

例：卒業式に参加する

- 1 卒業生入場 (拍手で迎える)
- 2 国歌斉唱 (立って大きな声で歌う)
- 3 卒業証書授与 (静かに卒業生を見る)

- ・ビデオを見せて、イメージをもたせる。
- ・式の流れを提示して、見通しをもたせる。
- ・すき間を(ト書き)で分かるように伝える。
- ・何度も繰り返し教え続ける。



〈水が好きな理由〉

・水道の水を流しっぱなしにしてながめたり、いつまでも水で遊んでいたり、まるでそれしかすることがないかのように、こだわり続けます。そう感じる訳は、人の体のほとんどが水分でできているためでしょうか。それとも、生物誕生の源が水だからでしょうか。水は僕にとって、故郷のような存在です。水を見ているだけで、幸せな気持ちになります。

→こだわりは、自閉症児にとって重要なことであり、心の拠り所になっている。



↓ **こだわりを人と関わるチャンスに変えよう！**

- ・〇時になったらおしまい、タイマーがピピッと鳴ったら終わりと宣言するなど、ルールを決めて認めたり、掃除などの活動に利用したりする。